

第 98 号



人と人

発行
東村山市国際友好協会
編集：広報委員会
東村山市本町 1 - 2 - 3
東村山市役所内
☎ 393-5111 内線2558
http://www.h-ifa.com/

平成24年度予算と平成23年度決算

1. 収 入 （単位：予算は千円、決算は円）

項 目	24年度予算額	23年度決算額
会 費	1,500	1,517,000
英 会 話 講 座 収 入	2,400	2,682,000
バザー事業収入	250	271,800
補 助 金	470	470,000
学 生 交 流 納 入 金	0	0
寄 付 金	10	18,000
繰 入 金	0	0
繰 越 金	2,216	1,643,613
雑 収 入	0	65,948
合 計	6,846	6,668,361

2. 支 出

項 目	24年度予算額	23年度決算額
会 議 費	80	14,470
消 耗 品 費	100	77,473
印 刷 費	130	78,855
渉 外 費	100	60,460
翻 訳 費	1	0
通 信 費	160	23,280
使 用 料	200	27,700
委 託 料	1	0
備 品 費	1	34,170
親善訪問派遣費	760	775,585
学 生 受 入 費	900	16,900
訪 問 者 受 入 費	1	0
教 育 交 流 費	1	0
バザー費	200	185,311
英 会 話 講 座 費	1,435	1,401,961
イ市行事協力費	1	0
日本庭園造園協力費	10	0
広 報 宣 伝 費	655	456,354
研 修 費	1	0
会 員 交 流 費	380	79,312
ホームページ管理費	130	126,630
諸 支 出 金	200	92,916
積 立 金	1,000	0
繰 出 金	0	0
予 備 費	399	0
合 計	6,846	3,451,377

国際友好の絆のさらなる 深まりを願って

平成24年度の総会を開く

平成24年度東村山市国際友好協会の総会が5月26日（日）午後2時から市民センター会議室で開かれました。

多くの会員とご来賓の参加を得て、折笠総務理事の司会のもと、室岡副会長の開会の辞で始まりました。

まず、岩瀬会長の挨拶に続き、ご来賓を代表して渡部尚市長などの方々に挨拶をいただきました。

渡部市長は、来年の35周年記念の際には姉妹都市インディペンデンス市へ同行したいとの意向を述べられました。ご来賓の方々のご紹介のあと、議事にて



総会にて

昨年、東日本大震災のあとでもあり、イ市の学生親善訪問団の来日が中止となりました。一方、東村山市からの親善訪問派遣団は予定通り実施されました。今年度は2年ぶりにイ市及び当市の学生による相互の訪問団が平常通り実施されることとなり、大変喜ばしいことです。

さらに今年度の新たな事業として、親善訪問派遣団（学生）OB・OG会事業と姉妹都市提携35周年記念事業の2つが計画されました。前者は、協会設立以来イ市を訪問した学生は300人を超えています。その同窓会組織を立ち上げる事業です。岩瀬会長も挨拶の中で、「今まで点であった人々が、線としてつな

がれば」と大きな期待を示されました。

後者の記念事業については、来年に向けて今年度特別委員会を立ち上げ、両市の市民同士の交流・式典等の準備体制に入ることとなりました。

役員や賛助会員などの紹介のあと、中村副会長の閉会の辞で総会は滞りなく終了しました。

満面の笑顔で

総会終了後、会員交流委員会櫻井委員長の司会で懇親会が開始されました。

乾杯の発声は前会長の大野茂氏が行ない、来賓として出席された明法中・高等学校教頭の早乙女氏より学校独自の留学制度についての紹介がありました。

引き続き本年の市民表彰を受けられた現在当協会顧問（元会長）の関梅四郎氏に当協会よ



喜びの関ご夫妻

り花束を贈呈し感謝の意を表しました。関氏は第五代会長として3年間協会の発展のためにご尽力頂きました。奥様とご一諸に皆さんから祝福を受けられました。

☆春のひととき、皆様に楽しませました☆

会員交流委員会では毎年、年度末近くに役員・委員研修会を開催しています。平成23年度は3月24日（土）に行なうことができました。あいにくの雨模様でしたが21名の参加を得ての研修会はそれぞれに意義のあった内容だったと思います。

東村山に縁がありこの地に住む私達がどれほど東村山を知っているのか、ということから、今回は多磨全生園、国立ハンセン病資料館、そして俣保谷納豆を約2時間半という短い時間の

中で多くのことを学ばせていただきました。とくに思いを馳せた全生園の資料館では筆舌に尽くし難い思いを感じ、ここで述べるより皆様に足を運んでいただくのが一番だと感じています。緑豊かな園内を散策されるのも一驚だと思えます。

『良質な、大豆、水、炭火、人の技、のハーモニー』の保

谷納豆ではこだわりの手作りを見学しました。里に八国東村山ブランドの選りすぐりの一つに数えあげられる納豆の数々はさすがです。大豆の香る工場を見学し、改めて日本人に生まれ和食の素晴らしさを感じています。

昼食で寄った「ぼん天」では東村山黒焼きそばを頂きました。太麺にたっぷり野菜。数あるなかでも満足度いっぱいです。そして研修ですから皆様でたくさ



全生園にて

んデイスカッションすることができました。（会員交流委員会）

英会話ニュース

去る3月14日（水）23年度後期講座閉講式を行い、修了者78名（内皆勤者19名）皆勤賞に機内持ち込み可能な携帯バサミを差し上げて喜ばれました。

桜満開の4月11日（水）平成24年度前期講座開講式を行いました。受講生90名。内学生4名は、学業、クラブ活動に忙しい中、駆け付けて頑張っています。講師は益々人気のゴードン・ホワイト（英）、バネッサ・コリー（豪）の先生方です。

後期（10月～3月）の英会話講座は10月10日（水）開講式予定です。詳細は9月1日発行の市報、協会ホームページをご覧ください。（英会話委員会）

平成24年度事業計画

- ☆会員（正会員・賛助会員）の拡充年間を通して
- ☆英会話講座の開講
前期4月～9月・後期10月～3月
- ☆イ市「学生親善訪問団」受入事業
7月14日（土）～7月27日（火）
- ☆「親善訪問派遣団（学生）」派遣事業
7月27日（火）～8月11日（土）
- ☆広報「人と人」の発行
7月、12月（全戸配布）、3月
- ☆市民産業まつりに参加（バザー出店）11月
- ☆役員・委員会委員研修会の実施2月
- ☆会員交流事業
年間を通して
- ☆姉妹校への協力
年間を通して
- ☆親善訪問派遣団（学生）OB・OG会事業
年間を通して
- ☆姉妹都市提携35周年記念事業
年間を通して
- ☆姉妹都市および諸外国からの訪問者受入
年間を通して
- ☆国際交流団体連絡協議会事業への参加
年間を通して
- ☆災害ボランティアの派遣
年間を通して

花みずき コーナー

イ市姉妹都市委員会のホームページから
委員のトゥワイラさんは1月に「Kiwanis Club」（Kiwanis は派遣学生の乗馬体験協力企業）と2月にトルーマン高校「Key Club」で講演を行いました。両クラブとも日本庭園の整備に協力してくれています。

桜まつり・姉妹校交流・派遣生同窓会組織・日本庭園などについて沢山の写真を使って説明しました。特に派遣生とホストファミリーの要件や、その経験が自分の人生に与えた素晴らしい影響、その後に生まれた日本の家族との強い絆などについて話しました。

昨年は大震災や原発事故のために訪問が中止され、今年は予定が合わず訪日できない団員もいましたが、新たに今回の団員が決まりました。自国のこと、日本のことを勉強し、お揃いのTシャツもできあがり、日本に行くのが待ちきれないようです。

日米の学生たちは準備快調

イ市の訪問団も当市の派遣学生もまず自分たちの暮している土地について勉強しました。現在はお互いの習慣・伝統・歴史・言葉を学んでいます。

イ市学生親善訪問団（第29回）
7月14日（土）～27日（金）

7月27日～8月11日（土）
親善訪問派遣団（第30回）

派遣生たちへのアンケートから抜粋して一部をご紹介します。彼らが楽しみにしているイ市での暮らしの中から、何を感じ何を

市の「きずな」をさらに強いものとして帰国したいと思っています。

派遣学生にとって良い経験になることはもちろん、イ市と東村山市の歴史のあるこの交流についても深く学んでくることで、さらに多くの方々に興味を持っていただけたらと思います。今後の交流事業の発展を期待しています。

引率者 肥沼 あゆみ

以前から姉妹都市交流に興味があり、いつか参加したいと思っていました。今まで培った両

當間 結花

外国に興味があり、二中に在籍していたころは姉妹都市交流部に所属していました。去年、姉が派遣生として行き、すすめられたこともあり、より外国の文化や言葉を知りたいと思い応募しました。生の英語を勉強すること、なつかしい人たちの再会を楽しみにしています。

照内 幸代

3年前に行く予定でしたが、新型インフルエンザのため中止となり、その後、自身の受験もあり応募できず、今回新たに参加します。イ市とはどういう所か、インターネットで調べただけではわからないことを見たいです。

佐藤 春菜

昨年、ホームステイしたオーストラリアとは違う、アメリカ



第30回派遣生（引率者 前列中央）

ならではの良い経験が出来ると思います。友人と共に参加します。

海外の文化や、学校では学べない口語的な英語も使い、積極的にコミュニケーションをとりたいと思います。

佐々木 実緒

大学受験を前に、まだ自分のやりたいことがわからない私は、イ市へ行き、興味を持てることを見つけないと思っています。英語はもちろんですが、日本とアメリカの文化の違いを学び、外国の友人とたくさんコミュニケーションをとって、内気な自分を変えてきたいと思っています。

市原 大二郎

数年前にイ市からの学生を我が家で受け入れたことがきっかけで自分も行てみたいと思いました。文化の違う生活の体験や、英語でのコミュニケーションが上達することができれば良いと思います。

今井 晃

今回が初めての海外です。日本という殻を出て、異なる文化、世界を見てみたかった。私の将来の目標は、アナウンサーです

派遣学生の主な活動

1. オリエンテーション
2. 一泊研修 4/14(土)・15(日)
3. 英会話レッスン
4. 壮行会 7/24(火)
市民センター、午後6時より
5. 派遣 7/27(金)出発、8/11(土)帰国
6. 帰国報告会 8/17(金)
市民センター、午後6時より



派遣生の研修の様子

あの人は今

私は、1999年にインディペンデンス市への派遣団に参加しました。

ホストの家族と湖畔にキャンプに行き、数メートルの屋からダイブしたり、ジェットスキーを体験するなど大変楽しい時間を過ごしました。その他にも市長を表敬訪問したりと様々な場所へ行き、様々な人々と交流することができました。他の派遣生のホストファミリーが弁護士で、法律事務所を訪問したことを覚えています。当時まだ学生だった私にとって、全てが得難い貴重な経験でした。

私は、現在、弁護士として様々な事件に携わっています。が、顧客が外国人で英語を使って仕事をしたり、事件の当

ております。プロジェクトからの問合わせがありましたら、ご協力をお願いします。

◆担当セクション（生活文化課 多文化共生係）の異動
中村眞治課長の後任には井上聰氏が、渡部明係長の後任には江川誠氏が着任されました。7月には女性職員の牧村昌美さんがあらたに配属となります。

◆講習会に参加
広報委員会では、5月28日、読売新聞社主催の「プロカメラマンによる写真撮影の講習会」を受講してきました。今後の掲載写真に活かしていきたいと思っています。

◆2007年イ市学生訪問団員の Susan Peoples さんが3月27日に来日しました。本年7月末まで神田外国語大学で、寮生活をしながら日本語を勉強されるそ

事者が外国人であることも増えてきています。そのような時でも、外国人だからといって尻込みせず、言葉や文化の違いを超えて対応し、自然と良い解決に導くことができています。これは、学生のうちに派遣団に参加して得た様々な経験が私に良い影響を与えてくれているのだと思います。

学生時代に直接異文化に触れ、実際に現地で生活を共にするといった機会は、なかなかあるものではありません。国際化が叫ばれる現代において、こうした派遣交流プログラムが当市で継続されていることは、非常に有意義であり、過去の参加者として、是非、今後も継続して頂きたいと思っています。（第20回派遣生 伊藤 博昭）

うです。

◆会費納入のお願い

今年も7月1日から会費をいただくに伺います。ご協力よろしく願います。

◆賛助会員の広告について

当広報紙は明年3月、100号を迎えます。100号は記念号として特別編集版となり、広告を掲載する予定です。賛助会員の皆様で広告掲載を希望される方はお知らせ下さい。

詳細については次号（12月1日発行）をご覧ください。

編集後記

2年ぶりにイ市からの学生訪問団を迎えます。当市からの派遣生を含め彼らには、さまざまな場面やツールを駆使して日本の「今」を発信する親善大使となつてほしいものです。

2012年イ市訪問団 受入日程	
7 月	行 事
14日(土)	到着・歓迎セレモニー
15日(日)	ファミリーデー
16日(月)	ウエルカムパーティー
17日(火)	姉妹校訪問（回田小・二中）
18日(水)	ディズニールランド
19日(木)	日本文化体験 （そうめん流し・浴衣着付・茶道・華道） 市長表敬訪問
20日(金)	ホストファミリー懇談会・市内めぐり
21日(土)	ファミリーデー
22日(日)	ファミリーデー
23日(月)	交流会（久米川幼稚園）
24日(火)	都内めぐり
25日(水)	日光ツアー
26日(木)	市長主催ランチ
27日(金)	帰国

イ市学生訪問団・ホストファミリー			
氏 名	性別	年齢	ホストファミリー
Ken Mulliken	男	引率者	東村 浩二（野口町）
Olivia Heacock	女	18	丸山 教次（青葉町）
Haley Laughlin	女	16	平沢 一則（本町）
Matthew Mader	男	16	市原順次郎（青葉町）
Dana Masters	女	20	大塚 幸一（富士見町）
Sara Mathews	女	18	山本 夏子（秋津町）
Rebecca Miller	女	17	半田 裕一（富士見町）
Andy Salva	男	15	小山 祐敬（野口町）
Kalee Trimble	女	18	伊藤儀一郎（久米川町）
Meagan Williams	女	19	滝田 弘（青葉町）

第30回親善訪問派遣団員				
氏 名	性 別	年 齢	住 所	
肥 沼 あゆみ	女	引率者	秋 津 町	
當 間 結 花	女	16	久米川町	
佐々木 実 緒	女	16	富士見町	
市 原 大二郎	男	18	青 葉 町	
岩 瀬 優 希	女	20	本 町	
佐 藤 春 菜	女	16	諏 訪 町	
照 内 幸 代	女	19	廻 田 町	
今 井 晃	男	19	諏 訪 町	